

## 令和7年度第5回学校運営協議会 会議録

会議の名称	上尾市立芝川小学校 第5回学校運営協議会
開催日時	令和8年2月20日(金) 午後1時00分～午後2時00分
開催場所	上尾市立芝川小学校 会議室
議長(会長)氏名	会長 遠山 貴洋
出席者(委員)氏名	会長 遠山 貴洋 委員 高橋 久誠 久能木哲太郎 坂牛 文子 小林くに子 諸橋 幹夫 武藤 晶子 尾見 拓哉 志田 守 校長 野本 恭子
傍聴者	0名
議題	(1) 令和7年度学校評価 学校評価書について
協議の結果	意見の概要
(1) 令和7年度学校評価 学校評価書について ⇒承認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の項目で、「行ってきます。」「お帰り。」の声が聞こえる地域にしたいという意見が出ている。能登地震への支援は以前の震災に比較して減っており、特に若い人が少なく、助け合いの精神を高めることが現代の課題である。災害発生時に、国や県の支援だけでなく、やはり地域の共助の力やつながりが大事である。</li> <li>・芝川小学校の子供たちが、大きくなったり、地域を離れたりしても、この地域のために恩返しをしようという気持ちがもてるように、地域や学校が協力して育てていきたい。</li> <li>・対話的な学びのある授業を充実させるためには、教師が力をつけていけないといけない。授業を見せ合うなどして、指導力を高めるようにしてほしい。</li> <li>・ICTの活用が重視されているが、動画を見せて子供が満足するだけの授業にはなっていないか。 →ICTを活用しつつも、紙に書く活動や話し合う活動も充実させ、学習の場面に応じてそれぞれを活用している。対話的な学習を充実させるため、ペアやグループでの話し合いを行っている。話すことが苦手な児童もいるので、話型を提示して、全員が自分の考えを話すことができるよう工夫している。</li> <li>・初任者研修はどのように行ってきたか。 →校内研修として、年間12回の公開授業や研究授業を行い、管理職や指導教員、教科主任等から指導を受けている。指導教員からは指導計画に沿った講話を隔週で行っている。また、機関研修として、年間13回、県立総合教育センターやオンライン等での講義や演習を通し</li> </ul>

	<p>た研修を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は、街中でなわとびの練習をする子供がたくさん見られた。高学年の子供が登校後によく走る姿もよく見られた。しかし、最近は見られなくなり、体力の低下が心配である。なわとびカードなどの取組はどうしているのか。</li> </ul> <p>→縄跳びは、2学期末や3学期初めに、体育の授業で行っている。なわとびカードは、その学習に関連させ、冬休みの課題として子供たちに出している。休み時間には友達と縄跳びをしたり、鬼ごっこをしたりして、遊びを通して体力を高めている。教師も率先して外に出て一緒に遊ぶなど、子供が外遊びをしたくなる環境を作り、体力の向上に取り組んでいる。</p>
<p>協議終了後 6年生の5校時の授業参観を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生として、集中して学習に取り組んでいる。</li> <li>・小さいころから関わってきた子供たちの成長した様子を見ることができた。</li> </ul>